

飯野コミュニティ

ふるさとに親しみを

飯野コミュニティでは、飯野町内にある遺跡などに看板を設置することで、地域の人たちが言い伝えや歴史などを知り、ふるさとに親しみを持つきっかけにしようとして取り組んでいます。

古くなった看板を新しく

飯野町内には、55か所の遺跡・古跡があり、平成14年頃看板を設置しました。これには、琴参バスで使用され、廃棄予定だったバス停留所の古い看板を再利用。当時、看板を自分たちの手で一つ一つ塗り直して、設置しました。それらが15、16年を経て、見えにくくなったり破損していたりするものが多くなったため、今年の2、3月、新しいものに設置し直しました。



今年設置した新しい看板(写真右上)と、バス停で使用されていたものを再利用した古い看板(写真右下)



みんなで協力して看板を設置



飯野町内の史跡を探検



長寿クラブの人が小学生に歴史を説明

小学校の授業で探検

飯野小学校では、3年生の総合学習の一環で、55か所の遺跡・古跡の中から十数か所を探検する授業があります。毎年飯野コミュニティの長寿クラブの人たちが協力し、子どもたちにそれぞれの場所まつわる言い伝えや歴史などを現地ですべて説明。子どもたちは地元に残る遺跡や歴史などに興味を持ち、特に、戦前に飯野町で電車が走っていたことには驚くそうです。また、疑問に思ったことを質問する児童も多く、教室では学べないことを学べるよい機会になっています。

地域を歩き、再発見

看板を設置することで、地域の人たちの目に入るようになり、「飯野にこんなところがあったのか」と再発見につながりました。また、「歴史を知ることができなくなった」と、地域の人からも好評です。現在飯野コミュニティでは、55か所の遺跡などを巡るコースを検討中で、地域のことをもっと知ってもらったり、健康づくりのために歩いたりできるようなコースを考えています。ふるさとに対する愛情を持つ人を増やすことを目標に、飯野コミュニティの取り組みは続きます。

みんなの協力に感謝



飯野コミュニティ 会長 吉田 順之さん

平成14年頃、遺跡・古跡に看板を設置したときは、若かったのもあり、みんなで気合を入れて看板を手作りしました。同時に、55か所の遺跡・古跡をそれぞれ詳しく説明したガイドブック「ふるさと探訪記」も作成しました。みんなで手分けして文章を編集しましたが、調べたり簡潔にまとめたりに苦しみつたり苦労しました。その甲斐あつてか、地域の人が遺跡や歴史などに興味を持ってくれたり、小学校の授業で取り入れられたりと、成果も着実にできています。協力してくれた皆さんには本当に感謝しています。これから、地域で歴史を伝承し、ふるさとへの愛を育んでいけるよう、活動を続けていきたいと思っています。